



平成22年4月28日

各位

上場会社名 古河機械金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 相馬 信義
 (コード番号 5715)
 問合せ先責任者 経理部長 岩田 穂
 (TEL 03-3212-7021)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年2月3日ならびに平成21年11月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	137,500	1,500	0	100	0.25
今回発表予想(B)	142,900	1,500	100	500	1.24
増減額(B-A)	5,400	0	100	400	
増減率(%)	3.9	0.0	—	400.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	161,857	2,303	993	△5,917	△14.64

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	3,700	2,700	3,000	7.42
今回発表予想(B)	7,900	3,700	2,200	2,700	6.68
増減額(B-A)	△100	0	△500	△300	
増減率(%)	△1.3	0.0	△18.5	△10.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	15,696	5,976	6,447	△740	△1.83

修正の理由

(連結)

平成22年3月期通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想につきましては、主として金属部門の増収により、売上高は前回(平成22年2月3日)発表予想を上回る見込みであります。営業利益及び経常利益はほぼ前回発表予想並みで利益を確保できる見込みであり、豪州銅製錬子会社における製錬所解体撤去費用等の見直しに伴う特別利益13億円の計上もあり、当期純利益は前回発表予想を上回る見込みであります。

(個別)

平成22年3月期通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想につきましては、売上高及び営業利益はほぼ前回(平成21年11月5日)発表予想並みとなる見込みであります。経常利益につきましては、豪州銅製錬子会社に対する費用負担に係る為替差損が発生したこと等により前回発表予想を下回る見込みであります。(当該為替差損は連結業績には影響はありません。)純利益につきましては、豪州銅製錬子会社に係る製錬所解体撤去費用等の見直しに伴う特別利益13億円の計上もありましたが、前回予想を下回る見込みであります。

以上